

原著号投稿規定

(2025年5月29日改訂)

1. 学会誌原著号は(独) 科学技術振興機構が運営するJ-STAGEに登載・公開される。
2. 学会誌原著号への投稿者は共著者も含めて原則として日本口腔・咽頭科学会会員に限る。
3. 投稿原稿は口腔および咽頭領域に関するもので、他誌に発表されていない論文に限る。
4. 投稿に際しては下記の点に注意する。規定に従わないものは受理しない。
 - 1) 原稿は原則として電子メールにて投稿すること。投稿の方法については本規定 11. を参照のこと。
 - 2) 原著論文は刷り上がり 20 頁(図表を含む)までを原則とする。
 - 3) 題名は原則として 20 字以内とし、10 字前後の略題をつけ、英文タイトルを必ず附記すること。
英文タイトルは文頭のみ大文字とすること。
 - 4) 本文は MS-Word 等のワープロソフトを用いて作成し、日本語または英語とする。
日本語は当用漢字、現代かなづかい、ひらがなを用い、1 頁 400 字で行をあげずに横書きとし、ページ数を入れること。
英語の場合は、A4 の用紙設定とし double space にてタイプし、ページ数を入れること。
 - 5) 外国人名、和訳しにくい用語のほかは日本医学会医学用語委員会編「医学用語事典(南山堂)」「耳鼻咽喉科学用語集(金芳堂)」による和文を原則とする。
 - 6) 原著論文は 300 字以内の和文要約および 3~5 語の日本語キーワード、200~300 語の英文抄録(対象、方法、結果、結論を明確に含んだもの)とその和訳、日本語キーワードに対応する英語のキーワードを添えること。
 - 7) 原著論文以外は 300 字以内の和文要約および 3~5 語の日本語キーワードとそれに対応する英語のキーワードを添えること。
 - 8) 1 頁目に題名、略題、英文タイトル、著者名(日本語および英語)、所属(日本語および英語)、連絡先、メールアドレス、筆頭著者の生年月日(著者の生年月日は奨励賞の選考に際し必要となる)を記載すること。
英語表記の著者名は語頭を大文字、フルネームとすること。
2 頁目に和文要約とキーワード、3 頁目に英文抄録とキーワード、および和訳を記載すること。
4 頁目より本文とし、原著は原則として「目的」「対象」「方法」「結果」「考察」「結論」を明確に記載し、「謝辞」「付記」「文献」「図」「表」「図表のタイトルおよび説明」の順に原稿を整えること。原著以外はこの限りではない。
 - 9) 図(写真を含む)・表は、MS-PowerPoint、MS-Excel 等を使用し、JPEG 形式、PDF 形式、PPT 形式、XLSX 形式いずれかでの提出が望ましい。解像度は、写真で 350dpi 以上、線描画で 600dpi 以上が望ましい。なお、図表は学会発表等で使用した power point での作図表そのままではなく、投稿原著として適切な字体を用い、背景や陰影などは消したうえで提出すること。グラフは平面図とする。
また、図表は上下を明示し、一連の番号をつけ、本文原稿とは別のファイルとして作成すること。本文原稿に図表を貼り付けての投稿はしないこと。
他誌の図表を引用する時は、著作権のある出版社から転載許可を受けること。
 - 10) 引用した文献は、本文中において該当箇所の右肩に順次番号をつけ、文献の欄にその番号を引用順に列挙すること。
(例) 後藤ら¹、誤嚥性肺炎^{7,17}
 - 11) 引用文献の記載は以下の形式による。
共著者多数の場合は、著者の数は 3 名まで記し、それ以上は、邦文では「他」欧文では「et al」を用いて省略すること。電子文献の記載については、
「SIST 参考文献の書き方 (http://sist-jst.jp/handbook/sist02_2007/main.htm)」を参照すること。

(例) 濱田奈緒子, 増田 毅, 関根大喜, 他: 多発性肺転移と骨転移をきたした顎下腺多形腺腫例. 口咽科 2011; 24: 97-101.

(例) Winkler E, Golden O, Regev E, et al: Stensen duct rupture (sialocele) and other complication of the Aptos thread technique. Plast Reconstr Surg 2006; 118: 1468-1471.

・単行本の場合

著者名: 題名. 編集者名, 書籍名. 発行地, 発行社名; 発行年度(西暦), p. 初めの頁-終わりの頁.

(例) 猪 初男: 扁桃の免疫臓器としての位置づけ. 野坂保次, 猪 初男, 斎藤英雄 監, 扁桃. 東京, 日本医事新報社; 1985, p. 465-477.

(例) Brodsky T: Tonsillitis, tonsillectomy and adenoidectomy. Bailey BJ, Johnson JT, Kohut RI, eds. Head & Neck Surgery-Otolaryngology, Philadelphia, JB Lippincott Co.; 1993, p. 833-847.

- 12) 原稿作成に当たっては、その内容の倫理性に十分配慮する。動物を対象とする研究については当該施設における動物の保護および管理に関する規定を満たすことならびにその承認番号を明記する。ヒトを対象とする医学系研究についてはヘルシンキ宣言を遵守するとともに、内容に応じてインフォームド・コンセントを明記する。また、個人情報保護法に抵触しないように十分配慮する。原著論文については、当該研究が各施設内の倫理審査委員会あるいは治験審査委員会等の承認のもとにおこなわれたことならびにその承認番号を明記する。
 - 13) 利益相反について、著者は論文内容に影響を及ぼす可能性のある、報酬、助成金、寄付金、特許、株式の保有やその他の援助(機材の提供、施設の使用などを含む)の有無を末尾に記載する。利益相反がない場合でも、利益相反に該当する事項がない旨を記載する。また、日本口腔・咽頭科学会ホームページより利益相反申請書をダウンロード、記入の上、論文原稿と併せて提出すること。
5. 投稿論文の採否、掲載順などは査読の上編集委員会で決定する。なお、推薦論文であっても掲載の可否については通常の査読を経たのちに決定される。
 6. 校正は初校正を著者校正とする。
 7. 著者には論文PDFを寄贈する。別刷を希望する場合は、下記事務局宛に申し出ること。別刷は著者負担で製作する。
 8. 採用論文の掲載予定号の発刊日まで期間が空く場合、著者はJ-stageへの早期公開を希望することが出来る。
 9. 掲載実費は下記による。
 - 1) 掲載料は30,000円まで学会負担とし、それを超える分は著者負担とする。
 - 2) 図版、表組に要した費用は著者負担とする。
 - 3) 図表はカラー、モノクロどちらの掲載でも掲載料は変わらない。
 - 4) 英文抄録の校閲費用は著者負担とする。
 - 5) J-stageへの早期公開を希望する場合、登載手数料は著者負担とする(早期公開時に請求)。
 10. 本誌に掲載された論文の著作権は日本口腔・咽頭科学会に帰属する。
 11. 投稿原稿、および利益相反申請書は下記事務局宛に電子メールにて送付する。メールでの投稿が困難な場合はデータ(CD-R等)を書留郵便、又はレターパックなど郵送記録の残るもので送付のこと。なおCD-R等電子媒体は返却しない。

送付先: 日本口腔・咽頭科学会事務局

〒135-0033 東京都江東区深川2-4-11 一ツ橋印刷(株)学会事務センター内

TEL:03-5620-1953 FAX:03-5620-1960

Email: jssp_submit@onebridge.co.jp

編集担当理事: 藤本保志・山村幸江

編集委員長: 木村百合香

編集委員: 酒井あや・嶋原俊太郎・鈴木健介・津田潤子・中島逸男
松延 毅